

第 1 回西海市風力発電等に係るゾーニング計画協議会 議事録概要

日時：2017 年 1 月 31 日 15：30～17：00

会場：大瀬戸コミュニティセンター 3F

1、委嘱状交付

本協議会設置にあたり、西海市竹口副市長より協議会委員への委嘱状の交付を行った。

2、開会あいさつ

竹口副市長より、西海市のスタンスとして、

「風という地域資源を活用した発電事業の実施によって地域振興につなげたい」

「風車という巨大な構造物の設置により市民生活や市内経済活動に対する悪影響を可能な限り回避したい」

という中で、課題の解決を図っていくという本協議会の位置づけの説明を行った。

3、議事

(1) 会長互選

事務局が長崎総合科学大学新技術創成研究所特命教授の池上委員を会長に推薦し、了承された。

(2) 風力発電等に係るゾーニング計画について

事務局(西海市)より以下の説明が行われた。

◆平成 28 年度風力発電等に係るゾーニング手法検討モデル事業の概要説明

環境省の事業であり、地域において環境面だけでなく経済面、社会面も統合的に評価して再生可能エネルギー導入を促進すべきエリア、環境保全を優先すべきエリアの設定などを行うゾーニング手法の検討を行うものである。

◆西海市が取り組む「風力発電等に係るゾーニング手法検討モデル事業」について

長崎県認定の「西海市環境実践モデル都市」として「自然環境の保全と産業振興の両立」を理念として各種取り組みを推進している中で、地域の考え方・歴史的な事情・自然環境との調和が図られるゾーニング計画を立案し、地域・産業振興に向けた具体方策を検討するのが目的である。

◆ゾーニング対象範囲（案）及びゾーニングにあたっての基本的な考え方

特に海域は境界が決まっていないため、ゾーニング対象範囲(案)を示しており、必要に応じて、隣接市町村との協議や地元の関係者の方との話し合いの場を設けるスタンスである。

ゾーニングにあたっては「保全エリア」「適地エリア」「候補エリア」「事業推進エリア」の4タイプに区分し、「事業推進エリア」については「設置可能」「要調整（漁業・農業）」「要調整（農業・漁業以外）」の3段階に区分する。

◆詳細検討の進め方（体制）について

今後の検討体制として、「陸上風力ワーキンググループ」及び「洋上風力ワーキンググループ」を設置すること及びその構成メンバーについて、事務局案を提示。

→ 事務局案のとおり承認された。

(3) 西海市風力発電等に係るゾーニング手法検討・調査業務について

事務局（アジア航測（株））より以下の説明が行われた。

◆ゾーニングの概要

- ・ゾーニングマップ作成に必要な環境情報を収集（資料収集・現地調査・ヒアリング）し、整理したものを地図化（GIS化）する。
- ・地図解析で各種エリア（「保全エリア」「適地エリア」「候補エリア」「事業推進エリア」）を区分・抽出する。

◆ゾーニングマップに使用する情報について

カテゴリーを①風況②自然環境③社会条件等④法制度等⑤電気設備関連に区分し、62項目の情報を扱うことを検討している。

① 風況

- ・陸上では6.0m以上、洋上では6.5m以上が事業推進可能風速と考えている。

② 自然環境

- ・海鳥の繁殖地や主要な渡りルートはバードストライクの影響を検討する。
- ・景観は教会群等からの影響を検討する。

③ 社会条件等

- ・住居や環境配慮施設の位置から騒音の影響を検討する。

◆参考図集について

参考図1 風況の状況

参考図2 自然公園区域等の分布状況

参考図3 主要な眺望点と教会群の分布状況

参考図4 砂防指定地等の分布状況

参考図5 海底地形、漁業権の分布状況

参考図6 電波伝搬防止区域、ヘリポート、天然保護区域の分布状況

(4)ゾーニング計画についての意見交換等

協議会委員及びオブザーバーからこれまでの説明に対する意見及び感想をお伺いした。

◆協議会委員

【長崎大学】

発電の事業適地の秒速 6メートル以上の風速というのは、1日の平均値なのか1か月の平均値なのか年平均値なのでしょうか？

また、適地エリアの広さのイメージをお持ちでしたら教えていただきたいです。

→風速については、シミュレーションですが、年間平均風速になります。エリアの具体的な面積は算出しておりませんが、風況からいえば、陸上で風速 6m以上、洋上で風速 6.5m以上のエリアが事業面から適地エリアとなり、この中で保全しなければならないエリアをくりぬいた部分が最初の適地エリアとなります。(事務局 AAS)

【西彼町漁業協同組合】

風力発電に対しましては、今後勉強しながら、質問なども考えていきたいと思えます。特に予想される洋上については、漁業者の納得いくような説明も必要だと思っていますので、今後勉強させてください。

【瀬川漁業協同組合】

江島のモニタリング結果はどんな状況でしょうか。騒音や魚種に対する影響はほとんどなかったと思ってよいのでしょうか？

→本調査は基礎的な調査で、西海市にどういった生き物がいるかといった調査であり、風力発電ができるかできないかを調査したものではありません。

低周波音や騒音が魚へ与える影響というのは、ゾーニングの中で具体的な適地が出てきた場合に、その地域でどのような対策をしなければいけないのかを考えていきたいと思えます。(事務局西海市)

【大瀬戸町漁業協同組合】

分科会において風力発電の場所のイメージを作っていくことになると思うので、その段階で意見をしたいと考えています。

【西海大崎漁業協同組合】

資料 4 の図 1-5 のゾーニングマップイメージ図の中で「事業性、環境保全上の問題が少なく、漁業者との合意が短期的に見込まれるエリア」と書いてありますが、どういうことでしょうか。

→こういったイメージでゾーニングを進めますよというイメージであり、この段階でたくさん意見を出していただいてそういったものを反映させながら、ゾーニングをして

いくという例を示しています。(会長)

また、陸上に設置した場合、民家からの距離などの規約はあるのでしょうか？

→何メートルという具体的な規約はありません。実際に風車を建設するときに環境アセスメントの中で環境基準を守るかどうかといったところで評価します。(事務局 AAS)

【NPO 法人西海市観光協会】

こんなに広い範囲での検証は大変だと思うので、風力が 6 メートル以下の場所は最初からはずしてしまえばよいのではないのでしょうか。

→想定としては早い段階で適地から外れるとは考えているが、西海市全域で検討するというプロセスは踏ませていただきたいと考えています。(事務局西海市)

【西海市商工会】

風力発電自体が大きな経済効果を得られるということであれば、実現に向けて一緒に勉強していきたいと考えています。

【西海市行政区長連絡協議会】

風力発電のあった地域では音や低周波で少し問題になった地域があるという話を聞いています。風とかに他の要因で距離というのは一定ではないと思いますが、その中で影響が及ぶ範囲について余裕をもって設定してほしいと考えています。

【西海里山倶楽部】

洋上の方だと五島市が先進的なので一緒になって、事業を進めていくと大規模ファームができるのではないのでしょうか。五島市では実証事業を行っていますが、第 2 ステップというのは時間がかかるものなののでしょうか。

→調査も含めて 5 年といったスケールで時間がかかります。ゾーニングの結果を見て次のステップを考えていきたいと思っています。(事務局西海市)

【さいかい元気村協議会】

今回具体例を説明されたのは初めてです。今後の西海市の産業振興・雇用につながる事業であれば、ぜひ進めていてもらいたい事業だと思っています。

その中で、事業者が個別に調査をしたいから土地を貸してくれと回ってきた。行政が一緒になって進めるのであれば、行政からの通達があっても良いのではないかと考えていますが、どうでしょうか？

→そもそも開発については規制する法律などが無い中で、事業者と地権者さんの間に入って強制力を働かせることはできないと思っています。

規制・強制力を持たない中で、本協議会でゾーニングを進めて、事前にエリアを示し

たり、結果を踏まえたりしながら、条例等で抑制力を持たせていければと考えています。
(事務局西海市)

【西海市農業委員会】

西海市の農業はすたれてきていて非農地が多いことは認めざるを得ないが、耕作放棄地だから一律推進ということではなく、農業計画等も踏まえながら、今後の協議の中で検討していきたいと考えています。

【長崎南部森林組合 西海支所】

これから勉強して、今後発言させていただきたいと思います。

【長崎西彼農業協同組合 大瀬戸支店】

陸上の風力を考えた時に農業への影響というのも当然あるかと思うので、勉強しながら、地域の活性化につながると思うので、実現に向けて一緒に努力していきたいと考えています。

【西海市環境政策課】

適地が選定された中で風車の機種によって影響の範囲が変わると思うが、機種の検討はあるのでしょうか。

→機種に対する影響というのは環境アセスメントの中で細かな検討がなされると思います。ただし、風車の規模感は共通認識として持っておく必要があり、先ほどの勉強会でもあったように大型の風車が建つことを前提にしたいと考えています。(事務局 AAS)

【西海市情報観光課】

景勝地や施設など、ゾーニングが進む中で指摘させていただきたいと考えています。

【西海市農林課】

農地は住環境から離れた中山間地域に点在しています。その中で適地エリアを見出していけたらと考えています。

【西海市商工企業立地課】

雇用が生まれるという五島市の事例発表に大いに期待しています。サポートできるところはサポートしたいと考えています。

また、大島や崎戸には土地計画区域がありますので、今後のゾーニングの中で提案しながら参加していきたいと考えております。

【西海市安心安全課】

防災行政無線や公共交通への影響について今後詳しく述べたいと考えています。

◆オブザーバー

【電源開発株式会社】

オブザーバーは今後ワーキング等にどのように関わっていけばよいか説明いただけないでしょうか？

→細かい話は委員さん中心にしていきたいと考えていますが、ワーキング開催の際は事前にテーマをお知らせしたいと考えております。

【九州農政局】

本協議会に参加させていただいて、地域の方の意見を聞いてみんなができるだけ納得できるやり方を考えていると感じました。

環境事務所も合わせて各省庁は現在再生可能エネルギー推進で動いているので、今後応援していきたいと考えています。

【長崎海上保安部】

洋上のワーキンググループに参加して、可能であれば対応していきたいと考えています。

【長崎県海洋・環境産業創造課】

地域の皆さんが一体となって再生可能エネルギー導入に向かって取り組んでいくことについては積極的に支援していきたいと考えています。

【長崎県世界遺産登録推進課】

現在、世界遺産への推薦書の見直しの中で、構成資産の見直しを行っておりまして、その検討もお願いしたいと考えています。

風力発電については世界遺産から見れば重要な阻害要因ですが、県としては再生可能エネルギーの推進も重要施策ではありますので、お互いがウィンウィンの状況になればと考えているのでよろしくお願いいたします。

【長崎県県北振興局建築課】

ゾーニング推進にあたって、協力できることがあれば、今後とも協議会に協力していきたいと考えています。

【株式会社大島造船所】

ゾーニングに関する情報の中で風況について年間平均風速が示されていますので、最大風速を、また台風時の波高についても教えていただきたいです。

ゾーニングの対象範囲が船の試運転の海域と合致するので、それを考慮していただければと思います。

4、その他

事務局より今後のスケジュールについての説明が行われた。

ワーキング：2月中旬以降

第2回協議会：3月下旬

5、閉会